



食料・農業・農村基本法見直し対策中央行動を展開

道農連の大久保委員長と中原書記長、事務局は5月24日、食料・農業・農村基本法見直し対策中央行動を展開し、藤木眞也農林水産大臣政務官や立憲民主党農林水産部門会議・新食料・農業・農村基本法検討WTのほか、与野党農林関係議員、農水省担当官らへ要請した。

要請では、一、基本理念の堅持と食料安全保障の強化、二、食料の安定供給の確保（食料政策）、三、農業の持続的な発展（農業政策）、四、農村の振興（農村・環境政策）、五、食料・農業・農村基本計画等の5つを柱に、農業者が将来に渡って安心して営農できるよう、国内自給を基本とした政策の確立などを求めた。

各地区事務局会議で基本法見直しに関する提言項目を取りまとめ

道農連は5月12日、各地区事務局会議を開催し、基本農政対策の政策提言項目のたたき台や、業態別の春闘対策の組織討議素案などについて協議したほか、食料・農業・農村基本法の見直しに関する提言書（案）を提示し、各地区からの意見を踏まえ、政策提言を取りまとめた。

アフリカ支援米「田植祭」を開催

道農連、連合北海道などで構成する食・みどり・水を守る道民の会（高久保陽一会長）は5月27日、アフリカ支援米の「田植祭」を空知管内由仁町の山根農園で開催し、道民の会会員とその家族をはじめ、生産者ら約80名が参加した。

当日は晴天に恵まれ、参加者は山根さんからの説明を受け、苗を一株ずつ丁寧に支援田へ植えた。今回植えた苗は秋に行う予定の「収穫祭」で収穫され、食料不足に苦しむマリ共和国へ送られる予定となっている。

5月の活動記録（上記以外）

- 1日 全道メーデー大会
- 9日 合成洗剤追放北海道連絡会第1回運営委員会
- 18日 水活見直しに係る総括WG
- 19日 道農産協会企画調整部会
- 31日 道「農」ネットワーク事務局会議

6月の活動予定

- 6日 第2回米・水田農業対策委員会、第6回地域水田農業のあり方検討委員会
- 7日 第2回酪農・畜産対策委員会
- 13日 第2回畑作・野菜対策委員会
- 27日 三役会議、第3回執行委員会・第1回眞の農政改革実現対策委員会合同会議

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（Tel011-241-5416）まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

